

自然と話そう、人と話そう!

# 安威川ニュース

安威川ダム湖 近未来の自然 / 竜仙峡アウトドアクッキング

ダム周辺の豊かな自然環境を守り継ぐために

安威川ダム建設の軌跡とこれから

安威川ダムができるまで — 令和4年春 ダム堤体の完成を目指して

ダム建設工事の安全を祈願する

安威川ダム定礎式 [レポート]

VOL.8

令和3年(2021年)2月号

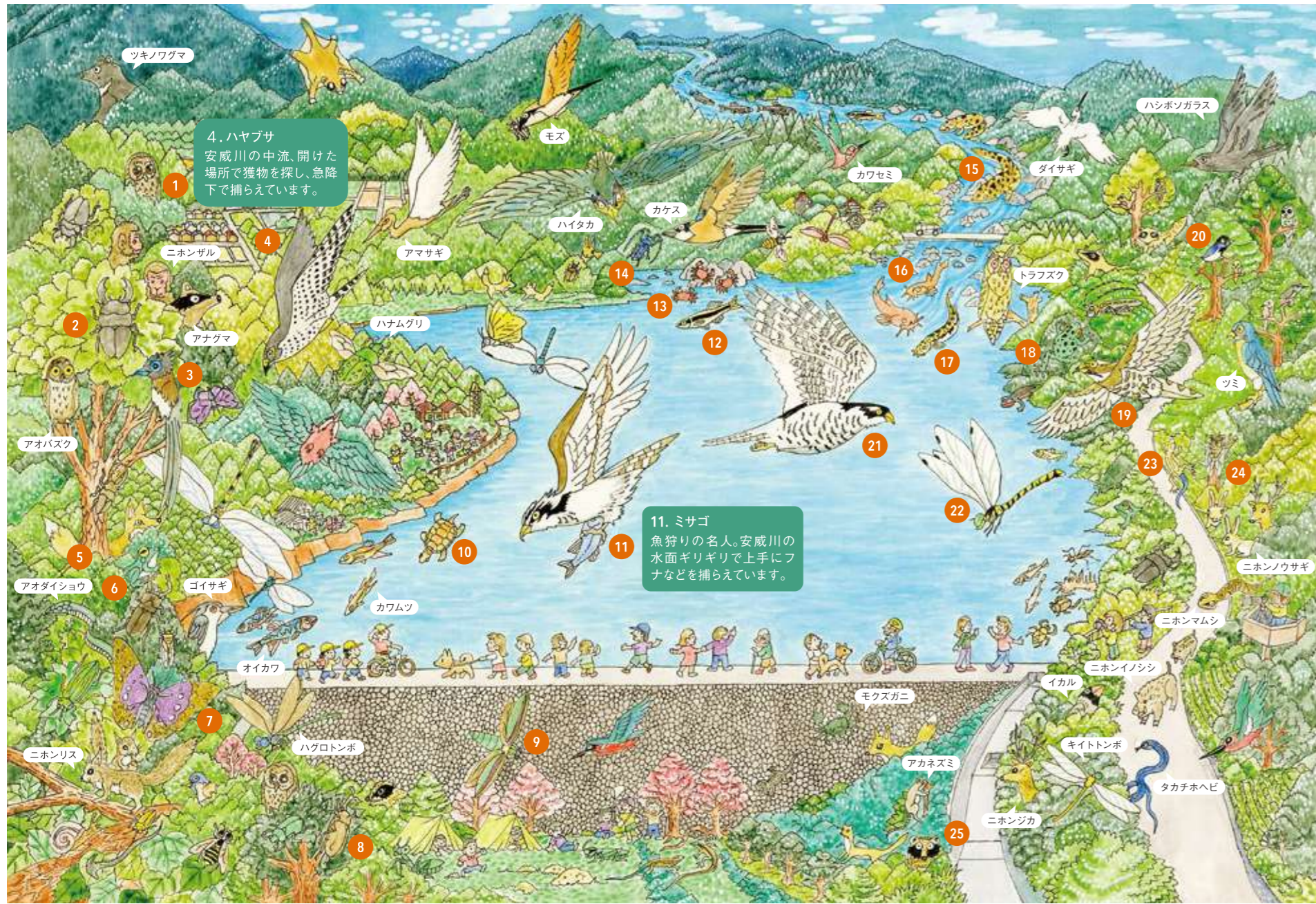
TALKS!  
AIGAWA



「竜仙峡アウトドアクッキング」主催者の皆さん

美しい景観、多様な生物たちとの出会いの場!!

# 安威川ダム湖 近未来の自然



## 安威川ダムの周辺には 生物多様性と親しむ 広大なフィールドが出現する。

令和4年春にダム堤体完成予定の安威川ダム。その上流には見晴らしのよい景色と、美しいダム湖が広がります。上流部のきれいな水に棲む魚たち、季節ごとに色を変える森林、そこに暮らす野鳥や昆虫たち。昔からいた生き物だけでなく、新たな環境を求めているような生き物が集まってくるはず。近い将来、ダム周辺は、すばらしい自然と出会えるフィールドになることでしょう。

**1. フクロウ**  
今は少ししか棲んでいませんが、もしかすると増えてくるかも。  
**チョウゲンボウ**  
川沿いの開けた場所で、小鳥などを狩っています。

**2. クワガタムシ**  
ヒラタクワガタ、ミヤマクワガタなど、数種類が森林に棲んでいます。

**3. サンコウチョウ**  
夏に美しい声で鳴き、オスは長い尾羽を持っています。

**4. ハヤブサ**  
安威川の中流、開けた場所で獲物を探し、急降下で捕らえています。

**5. ホンドキツネ**  
数が減少していますが、棲める環境が良くなれば戻ってくるかもしれません。

**6. シュレーゲルアオガエル**  
大きなアマガエルのような姿。山間の林などの湿った場所に棲んでいます。

**7. オオムラサキ**  
とても大きなタテハの仲間。昼にクヌギなどの樹葉に集まります。

**8. カブトムシ**  
クヌギなどの樹葉に集まります。夜行性なので日中は見つけにくいです。

**9. ヤマトタマシ**  
エノキやケヤキに集まる、とても美しい甲虫です。

**10. ニホンイシガメ**  
全国的に数が減っていますが、安威川では元気に暮らしています。

**11. ミサコ**  
魚狩りの名人。安威川の水面ギリギリで上手にフナなどを捕らえています。

**12. ムギツク**  
若魚は黒いストライプが特徴。上流部の岩陰などに棲んでいます。

**13. サワガニ**  
水質の良い緩やかな流れの場所に棲んでいます。

**14. カミキリシの仲間**  
林や森、開けた草地など棲む場所もさまざまで、いろんな種類がいます。

**15. オオサンショウウオ**  
国の天然記念物です。普段は川底の岩陰に隠れており、夜行性なので出会うことは滅多にありません。

**16. アカザ**  
上流の岩陰にひそんでいます。とても小さなナマスの仲間です。

**17. アジメドジョウ**  
流れが速く、苔が生えた石がある上流部に棲んでいます。

**18. モリアオガエル**  
黒い模様のある大型のアオガエル。木の枝に泡のような卵を産みつけます。

**19. サシバ**  
タカの仲間。渡りのシーズンになると、安威川の上空を飛んで行きます。

**20. オオルリ**  
オスはとてもきれいな青色で、美しい鳴き声があります。

**21. オオタカ**  
安威川周辺の開けた上空で獲物を探します。

**22. オニヤンマ**  
中流から上流に棲んでいる、とても大きなヤンマです。

**23. ニホトカゲ**  
大人になると全身が赤茶色になりますが、若い間は美しい金属光沢の尾が目立ちます。

**24. ヒゲラシ**  
涼しい林や森に棲んでいます。ツツクホウシとよく似ています。

**25. ニホンノボリ**  
一生、淡水で暮らす種。流れの緩やかな場所に棲んでいます。

### 野山や水辺の危険生物

自然の中は危険な生き物も棲んでいます。出掛ける時は、注意しましょう。

<p><b>ニホンマムシ</b> 本州で最も危険なヘビです。クサリ模様と三角の頭が特徴で、湿った場所を好みます。</p>	<p><b>マダニ</b> マダニの持つウィルスはとても危険です。数や林の周辺では長袖・長ズボンなどの服装で防御を。</p>	<p><b>カバキコマチグモ</b> 草原などで草を巻いて巣を作ります。噛まれると半日以上、激しく痛みます。</p>	<p><b>クマ・イノシシ</b> 最も危険な生き物です。クマの目撃情報のある場所には注意。イノシシは時に、人を襲うので用心。</p>
<p><b>スズメバチ</b> 人を襲うスズメバチは数種がいます。出会ったら刺激せず、ゆっくりその場を離れましょう。</p>	<p><b>ムカデ</b> 噛まれると激しく痛みます。枯れ葉の下や樹上に気をつけましょう。</p>		

**10. ニホンイシガメ**  
全国的に数が減っていますが、安威川では元気に暮らしています。

**11. ミサコ**  
魚狩りの名人。安威川の水面ギリギリで上手にフナなどを捕らえています。

**12. ムギツク**  
若魚は黒いストライプが特徴。上流部の岩陰などに棲んでいます。

**13. サワガニ**  
水質の良い緩やかな流れの場所に棲んでいます。

**14. カミキリシの仲間**  
林や森、開けた草地など棲む場所もさまざまで、いろんな種類がいます。

**15. オオサンショウウオ**  
国の天然記念物です。普段は川底の岩陰に隠れており、夜行性なので出会うことは滅多にありません。

**16. アカザ**  
上流の岩陰にひそんでいます。とても小さなナマスの仲間です。

**17. アジメドジョウ**  
流れが速く、苔が生えた石がある上流部に棲んでいます。

**18. モリアオガエル**  
黒い模様のある大型のアオガエル。木の枝に泡のような卵を産みつけます。

**19. サシバ**  
タカの仲間。渡りのシーズンになると、安威川の上空を飛んで行きます。

**20. オオルリ**  
オスはとてもきれいな青色で、美しい鳴き声があります。

**21. オオタカ**  
安威川周辺の開けた上空で獲物を探します。

**22. オニヤンマ**  
中流から上流に棲んでいる、とても大きなヤンマです。

**23. ニホトカゲ**  
大人になると全身が赤茶色になりますが、若い間は美しい金属光沢の尾が目立ちます。

**24. ヒゲラシ**  
涼しい林や森に棲んでいます。ツツクホウシとよく似ています。

**25. ホンドタヌキ**  
安威川周辺の林で、カエルなど小動物を食べて暮らしています。

**12. ムギツク**  
若魚は黒いストライプが特徴。上流部の岩陰などに棲んでいます。

**16. アカザ**  
上流の岩陰にひそんでいます。とても小さなナマスの仲間です。

**17. アジメドジョウ**  
流れが速く、苔が生えた石がある上流部に棲んでいます。

**18. モリアオガエル**  
黒い模様のある大型のアオガエル。木の枝に泡のような卵を産みつけます。

**20. オオルリ**  
オスはとてもきれいな青色で、美しい鳴き声があります。

**22. オニヤンマ**  
中流から上流に棲んでいる、とても大きなヤンマです。

**23. ニホトカゲ**  
大人になると全身が赤茶色になりますが、若い間は美しい金属光沢の尾が目立ちます。

**サギの仲間**  
アオサギやコサギなど数種が見られます。緩やかで浅い流れで小魚を探します。

**ヒタキなどの小鳥**  
キビタキやルリビタキなどの小鳥たちは、川の近くの森林で暮らしています。

**カモの仲間**  
毎年、秋から春先まで、さまざまな種類のカモたちが水辺に集まってきます。



**安威川フリーダム**  
生物の多様性と自然学習ガイド「安威川フリーダム」。茨木市内の小学生に配布し、楽しくわかりやすい環境教育を行っています。上記「保存版特集号」は、令和3年度から配布を予定しています。



## 安威川ダム周辺の将来について考える [ 竜仙峡アウトドアクッキング ]

安威川ダム建設地の上部、美しい山々と渓流が織りなす絶景のロケーションに包まれた「竜仙峡」は、かつて「竜仙閣」という旅館もあり、釣り人や川遊びなどを楽しむ「親水空間」として賑わった場所。安威川ダムファンづくり会では、周辺整備事業にともない、安威川流域の利活用、環境保全や、維持管理について考え、活動に取り組んでいくメンバーが一同に集まって、令和2年12月5日に「竜仙峡 アウトドアクッキング」を行いました。地元で採れた食材でつくるメニューは、盛りだくさんの野菜が入った味噌汁と人参を混ぜた夕焼けごはんのおにぎり、アマゴの塩焼き。大自然に囲まれた幻想的な空間で、とっても美味しい料理をいただきながら、この恵まれた豊かな環境を、どのように守り継いでいくかを真摯に見つめ直す一日となりました。



お米と野菜は、自然食カフェ BONO cafe 樋口智香さんの声掛けによって、北部地域の農家さんから提供していただきました。アウトドアクッキングに欠かせない鉄鍋調理は、ダッチオープンのスぺシャルスト・藤野未知数さん。アマゴの塩焼きは、安威川上流漁業協同組合のみなさんのご協力によるもの。料理の監修は、子育て食育実行委員会入交享子さん。



# 安威川ダムができるまで — 令和4年春 ダム堤体の完成を目指して

## 安威川ダム

AIGAWA DAM

淀川水系安威川の大阪府茨木市北部に建設中の治水ダムです。  
洪水調節、流水の正常な機能の維持、下流河川の環境改善を行います。

安威川は、大阪府の北摂地域に位置し、その源を京都府亀岡市の竜ヶ尾山に発し、高槻市、茨木市、摂津市、吹田市、大阪市を流下し、神崎川に合流する流域面積約163km<sup>2</sup>、河川延長約32kmの北摂最大の河川です。安威川流域のうち、約70km<sup>2</sup>は山地で、残り約90km<sup>2</sup>は丘陵地もしくは低平地です。昭和42年には北摂豪雨災害、近年では昭和58年、平成11年にも水害が起こっています。特に中下流部の洪水氾濫防止区域には、市街地や鳥飼車両基地のほか大阪中央環状線、近畿自動車道、東海道新幹線、東海道本線、阪急京都線などがあります。

### 安威川ダム流域図



### 安威川ダムの位置



### 事業経緯

- 昭和42年 北摂豪雨災害(これを契機にダム構想立案)
- 昭和51年 実施計画調査段階(国庫補助により調査に着手)
- 昭和63年 建設段階(国庫補助によりダム建設等の工事に着手)
- 平成5年8月 付替道路工事に着手
- 平成7年3月~ 水没各地区と「基本協定」の締結
- 平成11年3月 補償基準協定書の調印  
⇒本格的な水没地等の用地取得に着手
- 平成17年8月 大阪府の水源地計画変更  
⇒安威川ダム利水機能を7→1万m<sup>3</sup>/日に縮小  
水没家屋等の代替地への移転を完了
- 平成19年6月 水需要予測の見直しにより、安威川ダムから利水事業が撤退
- 平成22年9月 付替府道 茨木亀岡線の全区間(L=5.4km)供用開始  
国よりダム事業の検証の要請
- 平成24年6月 ダム事業の検証完了、国の対応方針決定(安威川ダムの事業継続)  
12月 転流工事を発注
- 平成26年3月 ダム本体工事を発注
- 6月 ダム事業の認定が告示
- 令和4年春 ダム試験湛水予定

※試験湛水 堤体が完成した後に行う。貯水してダムに問題がないかを確認する試験。

## 1967 北摂豪雨災害

昭和42年の北摂豪雨災害が、安威川ダム計画の契機となりました。

安威川ダムは、昭和42年7月の北摂豪雨により、死傷者61名、浸水家屋約2万5千戸等の被害を受けたことを契機に計画しました。安威川の治水対策は、100年に1回の大雨に対応するよう、河川改修とダムによる治水手法を選択しています。この対策により、時間雨量80ミリ程度の大雨で想定される被害(浸水家屋約8万戸、被害総額約1兆5,500億円)を防ぎ、市街地や公共施設、道路や鉄道等の重要な交通網等を守ることができました。



### 〈浸水被害区域〉— 安威川流域の状況



### 北摂豪雨災害(安威川流域)の被害内容

- 死傷者 : 61名
- 田畑冠水 : 約1,500ha
- 家屋の全半壊 : 41戸
- 床上・床下浸水 : 約25,000戸
- 河川堤防決壊 : 12箇所(安威川の左岸 茨木市野々宮地区など)
- 橋梁被害 : 13橋

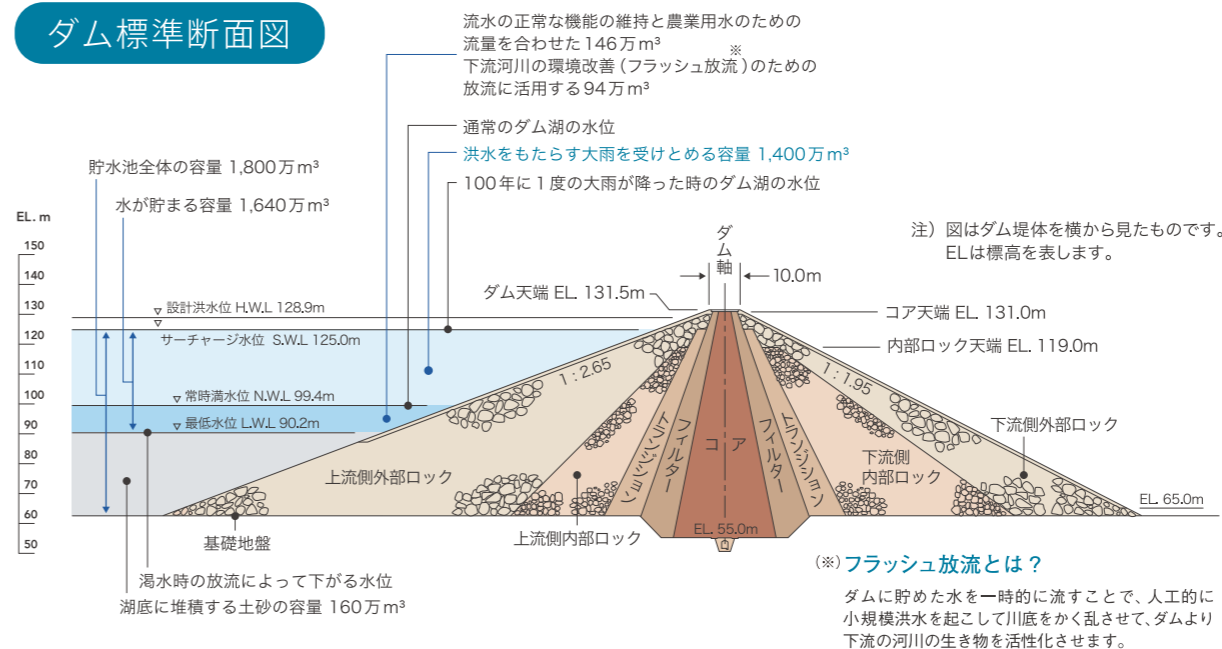
〔茨木市・摂津市の約1/3が浸水〕(市広報より)

### ダム完成予想図



安威川ダムは、中心に土でコアをつくり、その外側に岩を積み上げてつくる、**ロックフィルダム**という型式を採用しています。

### ダム標準断面図



諸元	
形式	中央コア型ロックフィルダム 土や岩石などで盛り立てるタイプ
高さ	76.5 m 20階建てのビルを超える高さ 大橋の塔を超える高さ
長さ	337.5 m ダム頂上部の長さ
天端幅	10.0 m ダム頂上部の幅
体積	222.5万 m <sup>3</sup> 京セラドーム大阪の約2.5倍分
集水面積	52.2 km <sup>2</sup> ダム湖に水が流れ込む範囲
湛水面積(平常時)	34 ha 平常時の湖面の広さ 京セラドーム大阪の約25倍分
湛水面積(大雨時)	81 ha 大雨時の湖面の広さ 京セラドーム大阪の約60倍分
貯水池	総貯水容量 1,800万 m <sup>3</sup> 京セラドーム大阪の約15倍分
	有効貯水容量 1,640万 m <sup>3</sup> 水が貯まる容量
	洪水調節容量 1,400万 m <sup>3</sup> 洪水をためらう容量
	不特定利水容量 240万 m <sup>3</sup> 流水の正常な機能の維持と農業用水のための流水を合わせた146万m <sup>3</sup> 下流河川の環境改善のための放流に活用する94万m <sup>3</sup>
	堆砂容量 160万 m <sup>3</sup> 湖底に堆積する土砂の容量

茨木市では、「ダム周辺の魅力向上と賑わいづくり」をはじめ、  
茨木市北部地域の活性化に向けて「山とまちをつなぐハブ拠点の創出」を目指して周辺整備事業を推進しています。



安威川ダム周辺整備事業は、公共施設である市の公園整備に併せて、吊り橋など公園の魅力を高める施設を民間事業者が自ら設置・運営する官民連携事業として進めています。令和5年度の供用開始に向け、ダム湖の両岸を結ぶ上空エリアにバンジーなどのアクティビティ施設を付帯した吊り橋(人道橋)を、ダム湖に隣接する平坦な地エリアに飲食・物販店やアクティビティ専用駐車場などを民間事業者によって設置する予定です。また公共施設として、湖面水際のボードデッキ、多目的広場、園路、駐車場などの公園施設と、事務室や研修室を併設した拠点施設などを整備していきます。さらに、茨木市、大阪府、民間事業者等が連携し、公園完成後も、地域のプロモーションやネットワークづくりなどの活動を推進し、茨木市北部地域の活性化に向けて「山とまちをつなぐハブ拠点の創出」を目指しています。



令和2年11月14日

## 工事の安全とダムの 永年の安泰を祈念する 「定礎式」を開催しました。



### 定礎行事



【搬入の儀】

【鎮定の儀 (ちんていのぎ)】



【いみごてのぎ】

【いみつちのぎ】



【まいのうのぎ】

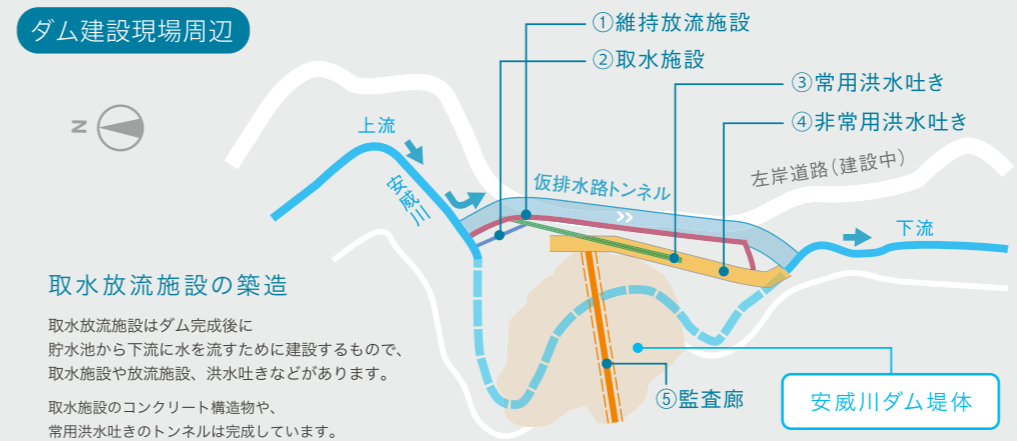
【万歳三唱・久寿玉開披】

令和2年11月14日、安威川ダム本体工事の安全およびダムの永久堅固と安泰を祈念し、「安威川ダム定礎式」が挙行されました。定礎式はダム建設工事において非常に重要な行事であり、ロックフィルダムでは堤体の盛立が本格化する中でその基礎を確かなものとし、工事の安全かつ着実な進捗に向けて道筋をつける意味合いがあります。式典には原田憲治衆議院議員、足立康史衆議院議員、吉村洋文大阪府知事をはじめ、国土交通省関係者、各自治体議員、近隣地区代表者、工事関係者等が出席し、清々しい秋晴れのもと定礎の運びとなりました。定礎式の開式にあたって吉村大阪府知事による主催者挨拶の後、大阪府安威川ダム建設事務所の江原所長より、ダム建設にあたり、集落の全戸移転や土地をご提供頂いた地元の皆様をはじめ、関係の皆様のご支援・ご協力への感謝とともに、昭和42年7月の北摂豪雨災害を契機としてダムが構想、立案されて以降、現在に至るまでの主な事業の経過と、転流トンネルの工事着工から、基礎掘削、グラウチング、ロック材およびコア材の盛り立て着手に至るまでのダム本体工事の進捗状況が報告されました。事業経過報告後は、地元選出の原田憲治衆議院議員をはじめ、井上国土交通省水管理・国土保全局長他各位より、ご祝辞をいただきました。その後、式典のメインイベントである「定礎の儀」を執り行いました。まず、重量114kgにもなる礎石が、古くより重い材木や大きな石を運ぶときに、士気を鼓舞するための掛け声として唱われた「木遣り唄 (きやりうた)」に合わせ総勢15名の担ぎ手により搬入されました。礎石の搬入が滞りなく終了した後、「工事の道筋をつける」という意味で、礎石を固めるためにスコップを使い、盛り立て材料を礎石の基礎に入れる儀式である「鎮定の儀 (ちんていのぎ)」が行われました。次に、「工事を進める道を均す」という意味で、鎮定の儀で礎石の周りに入れた盛り立て材料を鏝で均す儀式である「齧鑿の儀 (いみごてのぎ)」が行われました。続いて、ダム本体の本格的な築造に向け、「工事の道をしっかりと固める」という意味で、礎石の角を木槌で叩いてしっかりと固める儀式である「齧槌の儀 (いみつちのぎ)」が行われました。最後に、日ごろの工事で使用されている40tダンプトラックと21tブルドーザー、10t振動ローラなどの重機を用いて「埋納の儀 (まいのうのぎ)」が行われ、ダム堤体中に礎石が埋納されました。定礎の儀が終了し、安威川ダムの定礎を祝して足立康史衆議院議員による万歳三唱の発声に合わせて、久寿玉が開披され、華々しい幕引きとなりました。

## ダムの本格的な盛り立て工事が進められています。

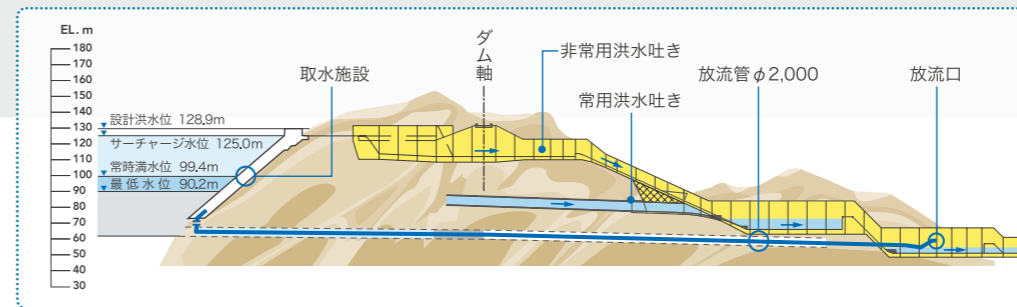
令和4年春のダム堤体完成に向けてダム本体盛立工事及び非常用洪水吐等コンクリート構造物の築造を並行して進めています。

### ダム建設現場周辺



### 取水放流施設の築造

取水放流施設はダム完成後に貯水池から下流に水を流すために建設するもので、取水施設や放流施設、洪水吐きなどがあります。取水施設のコンクリート構造物や、非常用洪水吐きのトンネルは完成しています。



ダムサイト下流から上流を眺めたダム本体工事の状況



安威川ダム展望広場から眺めたダム本体工事の状況



②取水施設



③常用洪水吐き内観



⑤監査廊

- ① 維持放流施設**  
雨が降っていない普段の川の維持用水を下流へ放流する施設です。
- ② 取水施設**  
貯水池から維持用水を取水するための施設です。
- ③ 常用洪水吐き**  
雨が降っている時のダム湖の水を下流に放流する施設となっており、100年に1度程度の洪水まで洪水調節を行える施設です。安威川ダムではトンネル形式となっています。
- ④ 非常用洪水吐き**  
安威川ダムはロックフィルダムであるため、水の越流に対して強くありません。そのため、常用洪水吐きで対応できない100年に1度より大きな洪水が起きた場合に堤体を越流させないために設けられた水路を言います。
- ⑤ 監査廊**  
ダム堤体下部の岩盤内に設置する通路で高さ2.5m、幅2mの大きさです。浸透してきた水の濁りや堤体からの予期せぬ漏水がないことを確認するための施設です。

### ダム本体盛り立て(リップラップ)

**リップラップ**とは、ダムの堤体を守るため、堤体の表面を保護するロック材のことでダムの顔となる部分。大きな岩を丁寧に並べ、さらにその隙間を小さい石で詰めて盛り立てていきます。



遠景

近景

### ●安威川ダム建設工事の進捗状況

平成27年4月 (着手当初)

完成予想図

令和2年12月現在

- ・基礎掘削 (ダム本体): 完了 (2018年6月)
- ・盛立: 施工中 (107万m<sup>3</sup>/222.5万m<sup>3</sup>)
- ・監査廊: 施工中 (426m/445m)
- ・非常用洪水吐 (コンクリート): (6.9万m<sup>3</sup>/11万m<sup>3</sup>)
- ・取水施設 (コンクリート): 完了 (2020年4月)

### 新しく整備される 「左岸道路」開通によって、 ダム湖を周回することが 可能となります。

安威川ダム周辺の道路整備においては、既に開通している付替府道・茨木亀岡線によって、ダムの右岸側へのアクセスができるようになっています。現在は、その対面にあたる左岸道路の整備に着手し、全長3.3kmの内、800mは供用開始しており、2.5kmは整備中です。なお、今年度はすべての橋梁の架設が完了し、現在、橋梁間の道路を築造しているところです。深い山岳の谷間を橋梁でつなぎ、美しい山々と湖畔の眺望を楽しむことができる新たな道路です。また、右岸と左岸の両道路がつながることで、ダム湖を周回することが可能となります。

### 多様な識者の方々に 意見を頂きながら、 自然環境・景観に配慮した 道路整備を目指しています。

左岸道路は、平成28年3月に策定した「安威川ダム自然環境保全対策実行計画案(※)」に基づいた整備を進めています。環境への負荷を軽減させるため、仮橋を使用するなど、橋梁の工事に必要な伐採面積を最小限に抑えています。さらに、切り開いた山に在来種の樹々を戻していくための緑化工法、道路の壁面にデザインパネルを採用、ガードレールの色を茶色に統一するなど、自然環境・景観に配慮した道路整備を行っています。

(※) 安威川ダムの建設及び管理に携わる一人一人が自然環境保全に取り組みたいための指針。



供用区間

現在の工事の様子 (工事用仮橋)

## 安威川ダムファンづくり会 「間伐材による森林保全プロジェクト」から 生み出された「山のベンチ」。



安威川ダムファンづくり会では、茨木市北部地域の課題解決に向けて、森林ボランティアの方々、木工家、クリエイターたちで編成する「間伐材による森林保全プロジェクト」を推進しています。間伐材を使ってプロダクトアウトされた「山のベンチ」は、ダムの建設現場を一望することができる「安威川ダム展望広場」に設置しました。今後は、さらに脚数を増やし、ダム周辺の様々なエリアに展開していく予定です。安威川ダム建設と周辺整備事業とともに、美しく豊かな里山を守り継ぎ、北部地域における持続可能な自然環境について考察する機会づくりを目指しています。

## 安威川ダムカードを 集めてみませんか？

### [カード 配布場所]

**安威川ダムカード**  
安威川ダム資料館/  
安威川ダム建設事務所（茨木保健所4階）/  
安威川ダム情報交流センター（茨木保健所5階）/  
忍頂寺スポーツ公園 竜王山荘

**安威川ダムグリーンカード**  
安威川ダム資料館

**安威川ダムカレーカード**  
中国料理 雁飯店 / レストランさくら / Mariana CAFE /  
招福堂 / タシモリカレー /  
忍頂寺スポーツ公園竜王山荘レストランやまなみ /  
cafe D / Camping Kitchen / 天婦羅の天升



### 安威川ダムカード

ダムのPRを目的として、全国のダム約500ヶ所で開催されるダムの紹介カード。安威川ダムでは現在、「建設中 Ver.3.0」を配布しています。工事の進捗にあわせて、今後様々なバージョンのカードが登場する予定です。



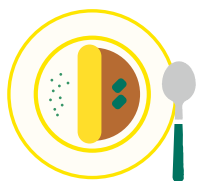
### 安威川ダムグリーンカード

NPO法人コミュニティ安威川では、安威川ダム周辺の道路・遊歩道沿いで、植栽・整備活動を行い、美しい自然環境を創生する「安威川ダム四季彩ロード整備プロジェクト」の苗木購入の為に基金へ募金いただいた方に、記念品としてお渡ししています。



### 安威川ダムカレーカード

ダムの堤体や緑豊かな里山など、安威川ダムやダム周辺の自然をイメージしてつくられた「安威川ダムカレー」。安威川ダムカレーは茨木北部及び中心市街地の店舗で販売しています。ご注文の方にもれなくお渡ししています。



## 安威川ダムカレーを 食べに行こう。

安威川ダムのPRの一環として、安威川ダムに見立てた「安威川ダムカレー」を茨木市観光協会と茨木市が共に開発しました。北部地域ではもちろん、中心市街地の飲食店などで販売しています。ご注文の方には、もれなく「安威川ダムカレーカード」が付いてきます！



茨木市忍頂寺スポーツ公園  
竜王山荘 ver.



中国料理雁飯店 ver.



Mariana CAFE ver.



レストランさくら ver.



招福堂 ver.



タシモリカレー ver.



cafe D ver.



Camping Kitchen ver.  
(令和2年度内は休業中)



天婦羅の天升 ver.

## INFORMATION

### ダム建設現場が一望できる安威川ダム資料館。

建設が最盛期を迎えつつある安威川ダム建設現場を間近で見学できる展望広場に併設されている安威川ダム資料館では、これまでのダム事業の歴史や取組を知ることができるパネルや事業パンフレット等を多数ご用意しております。また、安威川ダムファンづくり会の活動拠点として、野菜教室や歴史教室等のイベントを定期的実施しておりますので、是非お立ち寄りください。



### 新たな観光スポットとなるダムフォトフレームが完成しました。

安威川ダム資料館に併設されている展望施設にて、日々景色が変わるダム建設現場を背景に、自分だけのマイダムカードをつくらることができるフォトフレームを設置しました。資料館やダム建設現場の見学と併せて、安威川ダムオリジナル・フォトフレームをお楽しみください。



### [安威川ダム資料館 所在地]



安威川ダム資料館は、安威川ダム堤体の建設地すぐ近くの、大門寺北側高台ゾーン(※1)にあります。

[阪急茨木市駅から]  
西口ロータリーから阪急バス「車作」行に乗り、「大門北」停留所にて下車。停留所から徒歩10分程度です。

### 安威川ダム資料館

場 所：茨木市大字大門寺97  
大門寺北側高台ゾーン

開館時間(※2)  
毎週木曜日 13:00~16:00、  
毎月第1・第3土曜日  
10:00~16:00

※新型コロナウイルス感染症の  
拡大防止のため臨時休館しています。

問合せ：安威川ダムJV工事事務所 TEL:072-648-5464

(※1) 大門寺北側高台ゾーンへは、9:00~16:00までの間には自由に見学可能です。約20台の駐車が可能です。

(※2) 詳しくはホームページ (<http://www.aigawa.jp/>) もご覧ください。

### ダム周辺の巨大ジオラマや、ダムの立体模型を観に行こう！

安威川ダムについて皆さんに知っていただくために、「安威川ダム情報交流センター」を開設しています。ダムの役割やダム周辺の環境保全対策について、広く一般の方々に情報を提供するとともに、ご意見を頂くことを目的としています。

センター内では、ダム事業地周辺の立体模型やパース、パネルの展示、パンフレットの配布、ビデオ放映を行い、ミニ図書館も設けています。

自由に見学・閲覧できますので、皆さんぜひお越しください。



### 安威川ダム情報交流センター

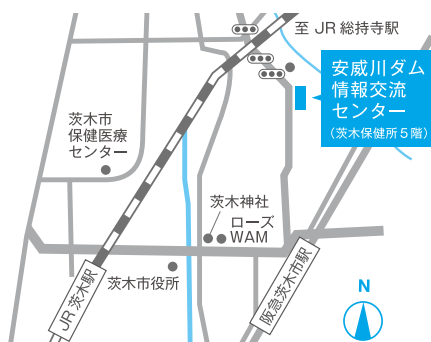
場 所：茨木市大住町 8-11  
開館時間：平日 10:00~16:00

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため  
臨時休館しています。

<車でお越しの方>  
国道171号西河原西交差点を南に下ってJR線高架下を通過した2つ目の信号を過ぎた左側にあります。

<電車でお越しの方>  
阪急茨木市駅(北口)より北に向かって徒歩約10分。  
JR総持寺駅(北口)より徒歩約10分。

※地下には駐車場がありますが、収容スペースに限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



### 安威川ダムファンづくり会からのお知らせ

ファンづくり会では、部会の活動に参加してくれる方を募集しています。詳しくは下記をご覧ください。

[AIGAWA.jp](http://AIGAWA.jp) 検索  
ファンづくり会情報サイト



facebook ページもぜひご覧ください